

Rotary



安城ロータリークラブ

週報

【No.669/ 2015/2 第1例会】

例会日: 毎週金曜日

例会場: 碧海信用金庫本店3F
安城市御幸本町15-1

TEL: 0566-75-8866

FAX: 0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP: <http://www.anjo-rc.org>

第2810回例会【創立記念日例会】

2015年2月6日(金) 12:30~13:30

司会者: 加藤 正人君

ソング: 「君が代」「奉仕の理想」

卓上花: ガーベラ・ピンクかすみ草

2014-2015年度RIテーマ:

「ロータリーに輝きを」

安城ロータリークラブ会長方針:

「楽しいロータリーを創ろう」

■会長: 永谷 文人

■幹事: 横山 真喜男

■クラブ会報: 亀島深里・辻隆士・海野広明

■創立日: S33年1月10日



2015年ロータリー国際大会
サンパウロ(ブラジル)公式マーク

■ 会長挨拶

永谷 文人会長

① 絵手紙紹介



② 会員紹介

◆ (株)碧香園 寺田 孝司君



■ 幹事報告

横山 真喜男幹事

- 2/8(日)安城市デンパーク駅伝が行われます。
- 2/16(月)理事委員長懇談会を18:30~川本にて行います。
- 次年度地区出向者への委嘱状が届いております。
 - ・研修委員会 細井英治君
 - ・社会奉仕委員会 内藤教恵さん
 - ・IA委員会 奥田法行君
 - ・ロータリー財団委員会会計長及び資金管理委員会副委員長 神谷研君

■ 出席報告

山田 庸雄君

会員	61名
出席義務者	46名
出席	40名
欠席	6名
出席免除者の出席	13名
出席率	89.83%
修正出席率	1月23日 第2808回 100%

■ ニコボックス報告

原田 慶三郎君



■ 今月のお祝い

★ 還暦 杉山淳一君



★ 会員誕生日祝 林 幸一君(2/4) 成瀬介宣君(2/11) 山田庸雄君(2/13) 石川義典君(2/14)
藤井英樹君(2/18) 近藤裕保(2/18) 都築雅人君(2/22) 大嶽岩雄君(2/22)
杉山淳一君(2/24) 松本隆利君(2/28)

★ 夫人誕生日祝 戸谷一美(かずみ)様(2/15) 市川裕美子(ゆみこ)様(2/17)

★ 結婚記念日祝 鈴木福美・公江(きみえ)ご夫妻(2/18) 竹内通裕・久代(ひさよ)ご夫妻(2/21)
築山清一・みなみご夫妻(2/26) 深津正則・啓子(けいこ)ご夫妻(2/27)

おめでとうございます！

◆ クラブフォーラム ロータリー情報委員会

※頂戴した原稿はそのまま掲載しております

イニシエーションスピーチ 石川 徳重君

たいよう株式会社 石川徳重 昭和44年生まれの45才 職業は不動産業と登記測量事務所を経営しております。祖父が不動産業を始めて父が登記測量事務所の営業を追加しましたので不動産業は三代目で登記測量事務所は二代目でございます。事務所は三河安城東町です。

私は西尾市吉良町宮崎という海のすぐ近くで育ちました。小学生の頃から父の仕事の手伝いを始めたため年齢の割には職歴が長く、経験を積むという意味では子供の頃からの手伝いも良かったと感じています。結婚後、資格を取得しました。資格取得後、半田市にて独立開業しようと思い用地取得を済ませたところ、碧南市にて同業である不動産業と登記測量事務所の個人経営主が他界したため既存客の利便上どうしても来てほしいと言われ初めは断っていたのですが断りきれず碧南市にて設立開業致しました。当然、既存客のほとんどはすんなり付いてくるような甘さはなく、初めのうちは大変苦勞をしました。5年が過ぎた頃には少しずつ安定し次の展開として岡崎市に事業所用地を取得しました。当初、事業所を増やす予定でしたが、結果的に移転することとなり岡崎市に建築の計画をしていました。その頃、偶然ですが三河安城東町に建物付任意売却物件の情報がまいこんで来ましたので購入し事務所として利用開始しましたので安城市内の事業所となることができました。

安城市内に事業所を構えてから某異業種交流会に入会しました。その会のシステムは自分の仕事スタイルでは長続きしないと判断して退会致しました。ただ異業種交流会入会の必要性は学びましたので入会すべき他の会を探していました。御縁を頂き伝統と格式のある安城ロータリークラブに入会させて頂きました。

感謝しております。振り返りますと本当に計画が計画のとおり進んでおらず、臨機応変な動きしかできていないのが実情でお恥ずかしい限りでございます。長いスパンの目標をもって少しでも先輩方々に近づけるよう心掛けたいと思います。ご指導を頂きますよう宜しくお願い致します。

昨年3月に入会式を行っていただいてから、1年が過ぎようとしております。3月に入会したにもかかわらず5月から8月頃までお休みさせて頂きましてご迷惑をおかけいたしました。

今後とも宜しくお願い致します。



イニシエーションスピーチ 海野 広明君

皆さん、こんにちは。
海野広明です。宜しくお願いします。

私の職業のお話をさせていただきます。
私の先輩で85歳現役の鍼灸師の方がいらっしゃいます。
何でそんなに長く仕事ができるかと秘訣を聞いてみました。
その答えは「仕事を楽しむことだよ」との返事を聞いて安心しました。そう私も仕事が楽しい、大好きだから。
先輩のように長く職業奉仕をしていこうと思っています。
私の職業は、東洋医学 マッサージ師 はり師 きゅう師
疲労回復整体 気功教室 心理カウンセリング、発達障がいのお子さんの支援をしています。
東洋医学は、統合医療の先生からのご指導を受け、心理カウンセリングは、心療内科の先生、発達障害の支援は、小児科医の先生の指導のもと行っております。



なぜ、この職業に就いたかと言うと、
大学1年 19歳の頃に自分の将来についてあれこれ考えていました。
「自分は何に向いているのか」「何がしたいのか」などいろいろな事を考えていました。
小学生の頃の夢は、調理師でした。雇われるより、「自分で何かをしたい」その気持ちは大人になっても変わらなく持ち続けていました。

「手に職を付けたい」そのキーワードからあらゆるアルバイトをしました。

その中で出会えたのが、エステとカイロプラクティック、スポーツジムを併設した会社のアルバイトでした。ここが私の人生に大きな影響を与えてくれました。
スポーツトレーナーとして働き、体を支える筋肉の構造、ダイエット法、筋力トレーニング法とカイロプラクティックと経営法について学びました。
その当時は、筋力トレーニングでベンチプレス120キロ、スクワット100キロを挙げていました。
体を鍛えすぎて、ボディビル新人の部で優勝するぐらい体を鍛えるのが好きです。
接骨院、整骨院の先生になるなら柔道が必要だと知り、柔道初段までとりました。
理学療法士にも興味を持ち受験をして受かりましたが、最後は鍼灸マッサージ、東洋医学に自分の道を決めました。
ここまで来るまでにひとりで悩み、登校拒否、自閉症に近い状態までになり苦労しましたが、自分が行動してそこで助けてくれた人がいることに気付きました。
今、人を癒す職業についていますが自分が助けられてここまで来られた感謝を忘れません。
今年で開業22年目となりますが、開院当時と変わらぬ志を持って施術に当たっています。
自分が人に助けられたようにひとりで悩み、辛い症状で困っている方を助けるお手伝いが出来れば幸いだと考えています。

東洋医学は、発病に至るまでの未病を施術し、患者の養生や生活指導を行い、病気を予防するのが東洋医学の真髄であります。
人の体を全体としてとらえ、パーツでなく、全体を診る。私の恩師でもある統合医療の先生からは、「病名を診るのではなく、人を診なさい」とご指導頂きました。

この考え方に基づいて、経絡や人の体に約365あるといわれる経穴(ツボ)に、鍼や灸を用いて刺激を与え、体に備わっている自然治癒力を高めるのが鍼灸治療です。つまり、体全体のバランスを健康な状態に戻そうとする医療とも言えます。

全ての人が良くなるわけではありません。本人の生活習慣病とどう向き合っていくか、自分の体をどう大切にしてメンテナンスをして頂くかによって改善率が変わってきます。

当院に来院の多い症状

腰痛 肩こり ②スポーツ外傷 ③不妊症 ④アトピー ⑤骨盤矯正 ⑥慢性疲労 ⑦うつ病(自律神経系)

腰痛の改善例

腰痛という症状を治すのではなく、腰痛を起こす原因となった本人の生活行動、食事や体への気の使い方、睡眠、その他メンタルの状態を改善し無理をさせた本人の生活習慣に気づきを与えて改善した例が多数あります。

73歳の男性

腰骨4番 5番のヘルニアによる左足のしびれ 100メートルの歩行で痛みが出る
治療2か月後、2から3キロの歩行ができるようになっています。

76歳男性

2か月間、寝たきり。起きることができない。
どこも悪くないように感じ、起床時にどこの筋肉を使うか、意識するかを指導。
その後、5回ほど施術。今は、普通に歩いています。

41歳男性

脱失型椎間板ヘルニア 1月半ばから1ヶ月 休職中。
10分くらいの歩行で左足にしびれが出る。
水分の取り過ぎ、食べ過ぎによる体重過多による影響を疑い控えるように指導。約10回の施術で3時間くらいの歩行が可能になっています。

皆さん、体全体のバランス調整、その他、歩き方、体の使い方、呼吸法を指導して改善に向かっています。
改善させているのは、本人の自然治癒力。
その方の意識の持ち方、気づきのレベルを上げるお手伝いをしているのに過ぎません。

腰痛予防のワンポイントをお伝えします。

腰を気持ちだけ(1ミリ)下げる。
ポイントは腰です。膝を意識しないようにお願いします。
重心を少し低くすることで下半身が安定します。手を大きく振って歩かない。
その結果、足の筋肉が強くなり腰への負担が減ります。
腰だけを治療するのではなく、体全体を整えることをおすすめします。

その他、障がいを持ったお子様も改善していった例もあります。
自閉症スペクトラム、登校拒否、夜尿症、アトピーなど。
お子様の場合、お母様の意識レベルを上げることで改善していくケースが多々ありました。

今後は、教師、栄養師、小児科医、心療内科医、統合医療の先生達と連携を計り、障がい者施設を増やし、障がい者の方の就職支援も含めた社会奉仕をしていきたいと思っています。

今後とも宜しくご指導お願い致します。
ありがとうございました。

①挨拶

私は昨年7月に入会しました中央精機の林です。
伝統と歴史のある安城ロータリーに入会でき
とても光栄に思っています。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。



②導入

これから、私がお社へ入ったきっかけからアメリカ
赴任することになり、そこでどんな生活をしていた
かについて少しお話します。
ご家族の中にアメリカへの赴任や留学するような
お話があれば少しでもお役に立つかもしれません。

③入社のかきかけから赴任まで

私は、1979年4月に中央精機に入社し、早36年が経とうとしています。何で安城の中央精機なのかというと、理由は簡単でした。今から36年前中央精機は、JR安城駅の近くに本社工場があり、今本社のある尾崎町の工場と豊田市の鴻巣町の工場と3工場しかありませんでした。従って、転勤があっても知れていると言うのが最大の理由でした。

ところが、10年もたつとアメリカケンタッキーと台湾に工場が建ち、その後タイ、インドネシアそして中国と徐々にグローバル化が進み、勤務地は一挙に海外に広がってしまいました。そんな中、1992年1月からアメリカへ赴任することになったのです。赴任時は36歳でした。赴任前に当時の人事担当役員からは最低5年頼むなと言われ、結果8年間住むことになってしまったのです。今は、そんなルーズなことはなく、スタッフは5年が基準となっています。当時はそんな決まりは無かったのです。

④赴任時の環境

子供も小さく家族帯同で赴任しましたが、妻にとっては、姑と離れられ、これ幸いだったと思います。子供たちもちょうど小学校へ入る頃でした。レキシントンには全日制の日本人学校はありません。だからいきなり彼らは現地校へ入りました。平日は現地校で、週末土曜だけの日本人補習校へ通っていました。

幸いなことに子供たちは何とか現地に馴染んで、それなりに現地の友達も出来ました。赴任者にとって家族の生活が上手くいく事は、自分の仕事以上に重要なことだと思います。奥さんや子供が環境の違いから、精神的に参ってしまい日本に帰らざるを得なかった人は、私の会社だけでなく何人もいます。本人も仕事を手につかなくなってしまう帰ることになるのです。そういう意味では、私は幸運でした。

アメリカで生まれた3人目の次男

赴任当時は妻と子供2人の4人でしたが、95年に3人目の次男が現地で生まれ、当然アメリカ国籍も持つことができました。出産もアメリカ式です。ラマーズ方で立ち会いました。目の当たりにしてとても衝撃的で感動したのを覚えています。それから、金曜日の夜入院したのですが、土曜の朝生まれ、日曜の午後には退院しました。アメリカではこれは普通です。日本では考えられませんが、根本的な考え方の違いだと思います。出産は病気ではないので早く日常生活に戻った方が良いという事だそうです。それからアメリカで出生届を行うときミドルネームを付けることが出来ます。もちろん付けてやりました。日本にももちろん届出をしなければなりません。国籍の「保留届け」を行いました。それにより二重国籍状態になります。当時次男はパスポートを2枚持ち、日本とアメリカを行き来していました。日本の出入国は日本のパスポート、アメリカの出入国はアメリカのパスポートと言うことです。そして2000年4月に本帰国となりましたが、今ではその子も二十歳になります。因みに国籍は二十二歳の誕生日までにどちらかを選択すればよいのですが、一昨年既に日本国籍を選択する届出を行っています。彼が5歳のとき日本に本帰国し英語は全く話せませんし、考える余地はありませんでした。

アメリカでの生活 ゴルフの話

家族の話はこれ位にして、次にアメリカでの生活についてお話したいと思います。仕事以外では、ゴルフをやったり旅行に行ったり、結構充実していました。ゴルフについては、会社の帰りに1ラウンドプレーすることは、夏なら全然問題ありませんでした。しかも安い、当時レキシントンの市営コースで1ラウンド、自分でプルカートで引っ張って回れば10ドル(94年当時105円前後/\$)で出来ました。プライベートのメンバーコースでもビジターでカートに乗っても\$60-70でした。そんな中で、当時は年間50-60ラウンドやっていました。つまり毎週末やっていた勘定です。アメリカはそんな環境ですから、底辺が広がるのは当然で、有名なプレイヤーが出るのも頷けます。

シンシナティのカジノの話

それから、住んでいたケンタッキーのレキシントンから北へ車で2時間弱で、みなさんご存知の大リーグのレッズで有名なシンシナティへ行くことが出来ます。シンシナティの郊外に行くとスキー場もあり、冬はよく子供たちを連れて行きました。またカジノもあります。カジノと言えばネバダ州のラスベガスが有名ですが、実はシンシナティの郊外にもカジノはあります。オハイオ州のシンシナティはインディアナ州やケンタッキー州に接しています。いずれの州もインディアン居住区を除きカジノ運営は認められていません。そこでどうしているかと言うと州境のオハイオ川の河川上に船を浮かべたカジノを作っちゃったんですね。陸の上では非合法だが河川上はどの州にも属さず、規制されないという理論です。船と言ってもその場に停泊したままです。一見地続きそのものでした。車で乗り付けることができます。

シカゴのタクシー事件の話

それからもうひとつ、アメリカは日本とは違うと実感したことがありました。それは、シカゴに始めて行ったときの事です。その時アメリカ生活の大先輩と一緒にでしたが、夜飲みに行くことになり、先輩がホテルでタクシーを拾い、乗り込むとドライバーに「面白いバーへ連れてってくれ」と頼んだのです。そしてダウントウンのとあるバーに行きました。そしてその先輩がどういう行動をとったと思いますか、降ろされた所はどう見ても怪しく、人通りも少なく、とても不安な所でした。それを見て先輩はドライバーに何んと言ったかと言うと「あんたもいっしょに飲んで、我々が帰るまで待ってくれ」と頼んだ訳です。もちろん彼の分も払ってチップも弾みました。なぜそんなことをするのかと思ったのですが、帰る時、外に出てあらためて思いました。夜遅くこんな所で帰りのタクシーを拾うことは到底困難です。先ほども言ったようにダウントウンの寂れた通りです。店自体はとても面白い所でしたが、回りは、そんなに車の通りも有りません。タクシーを求めてうろろうろしていたら、おそらく命は無かったかも、少なくとも身包み剥がされていたかも知れません。引き止めたそのタクシードライバーにちゃんとホテルに連れて帰ってもらいました。ホテルで頼んだタクシーなら安全です。それをキープした訳です。アメリカ生活の知恵なんでしょうね。まあもっとも普通はそんな面白いバーに行こうなんて端から思わないかも知れません。でもその時、どこか始めての所へ行って、タクシーを使う必要がある時、その降りた場所の状況を見てどうすべきかと言う事を学びました。アメリカへ赴任出来たからこそこのような体験ができました。

その他の旅行の話

それから、せっかくアメリカにいるのだからと、色々な有名な観光地に家族で行きました。北はナイアガラの滝、ニューヨーク、ワシントンDCそれからシカゴ、南はニューオーリンズやフロリダのディズニーワールド、ユニバーサルスタジオ、そして更に南へ下りメキシコのカリブ海を望むカンクーン、そして西はサンフランシスコやラスベガスにも行きました。どれもとても楽しい思い出です。

最後に

今考えれば、会社生活36年間でその頃が最も公私にわたり充実していた頃かも知れません。今では、会社に感謝の気持ちでいっぱいです。

最後ですが、私はお話した通り8年間アメリカで働きしっかり税金を収めていますので、年金をもらえる権利があります。しっかり申請しようと思っています。これも会社に感謝かな。

以上アメリカでの生活体験を徒然にお話しました。どうもありがとうございました。